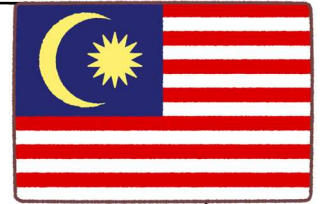


マレーシア通信 (NO.5) 青年海外協力隊からの報告



2022 年度 3 次隊 まついじゅんぺい
松井 絢平

Selamat Pagi(おはようございます)。青年海外協力隊として派遣中の松井です。
2023 年 2 月からマレーシアのコタキナバル (サバ州) で活動しています。
今回は、マレーシアの交通事情について紹介しようと思います。

マレーシア国内での移動手段は何か？

マレーシア国内での主な移動手段は自動車やバイクです。首都 (クアラルンプール) では路線が整備されており、気軽に電車も利用することができます。道路の交通ルールですが、日本と同じ左側通行であり、運転席も右側になっています。



クアラルンプール市内を走る列車 (KTM)



クアラルンプール市内を走る自動車

なお、市内を走行している車種ですが、故障トラブルが少なく、悪路でも問題なく走行できるという理由から、日産・HONDA・TOYOTA などの日本車が多く走っています。

特徴的な道路インフラはあるか？

マレーシア国内の至る所にラウンドアバウトという円形の交差点があります。この交差点を採用することで、信号がない地域でも活用できること、停車時間がなく、渋滞の発生が抑えられる等の利点がありますが、基本的に停車しない為、事故が起こりやすいというリスクがあります。



ラウンドアバウトおよびその標識

また、道路上に凸型の構造物がよく配置されています。これはスピードハンプと呼ばれています。車両の通過速度を低く抑える目的で、街中・住宅街・学校の近くに設置されております。



道路上に設置してあるスピードハンプ

次号（最終）は「最終活動報告」についてです。